

再評価【番号2】

一般国道438号
上八万バイパス

1. 事業概要 / 現道の道路交通上の課題

平面図



(起) 徳島市八万町大坪
至 R192

上八万IC

園瀬橋工区
L=1.0km

大木工区
L=0.6km

延長L=5.5km

中山・花房工区
L=1.5km

田中トンネル
L=1,040m

田中・西地工区
L=1.3km

一ノ瀬工区
L=1.1km

一般国道438号



歩道未整備



豪雨時(H26)浸水箇所



幅員狭小・視距不足



渋滞状況








豪雨時(H26)通行止

(終) 名東郡佐那河内村一ノ瀬

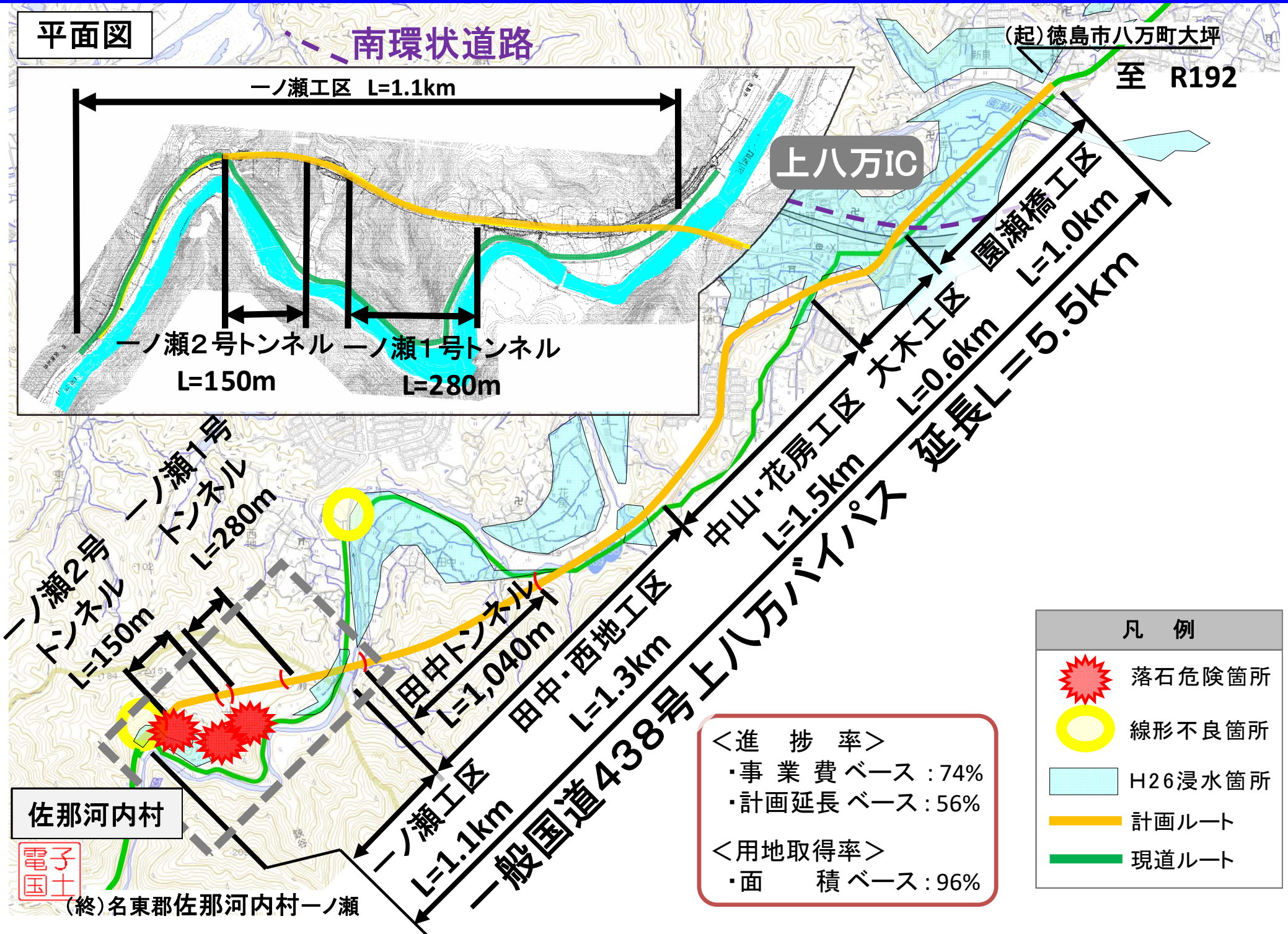
佐那河内村



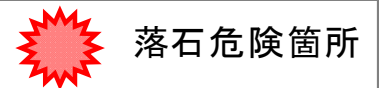
凡例

-  落石危険箇所
-  線形不良箇所
-  H26浸水箇所
-  計画ルート
-  現道ルート

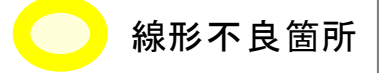
2. 事業概要 / 現道の道路交通上の課題



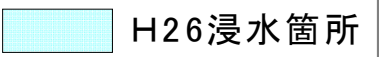
凡例



落石危険箇所



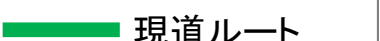
線形不良箇所



H26浸水箇所



計画ルート



現道ルート

<進捗率>

- ・事業費ベース : 74%
- ・計画延長ベース : 56%

<用地取得率>

- ・面積ベース : 96%



(終) 名東郡佐那河内村一ノ瀬

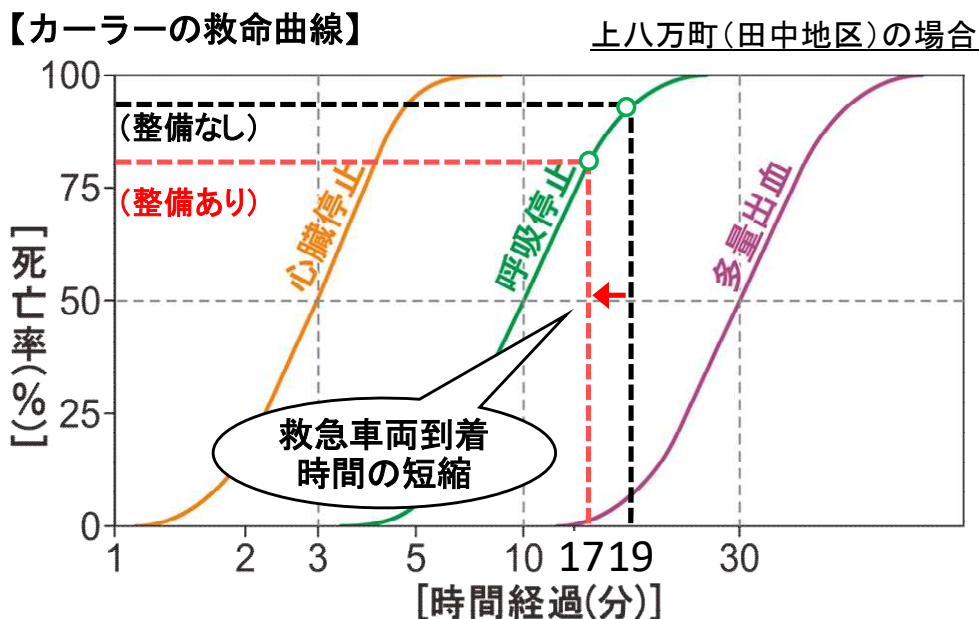
3. 道路整備による多様な効果①【貨幣価値換算可能な整備効果】

◎その他の便益

医療

■ 救急医療へのアクセス向上

- 徳島市東消防署から集落までの救急車両到達時間が短縮
→ 救命率の向上



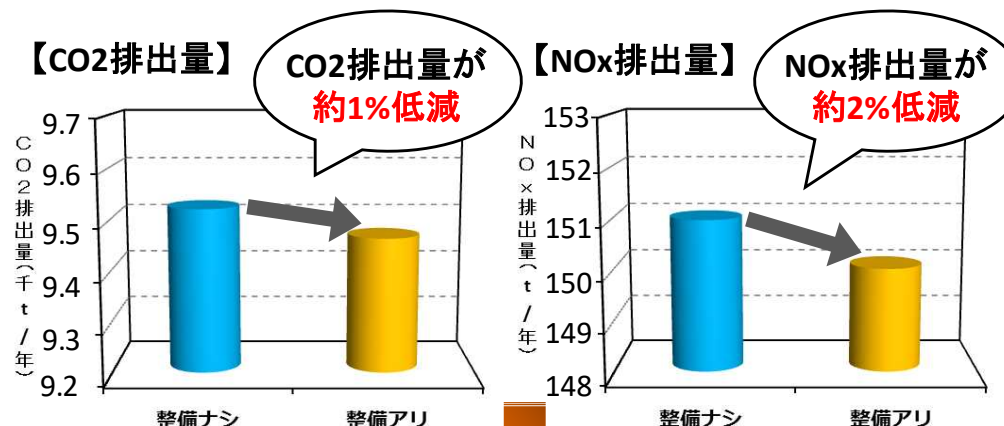
- 呼吸停止後の死亡率が約7%低減

救命率の向上効果 : 29.7億円

環境

■ 地球環境の保全効果

- CO₂、NOxの排出量が抑制
→ 大気汚染・温暖化防止効果への効果



大気汚染・温暖化防止効果: 1.9億円

■ 騒音低減効果

- 現道の通過交通がバイパスに転換
→ 現道沿いの騒音の低減効果

騒音低減効果: 9.0億円

4. 道路整備による多様な効果② 【防災・減災】

【防災・減災】災害に強い道路ネットワークの構築

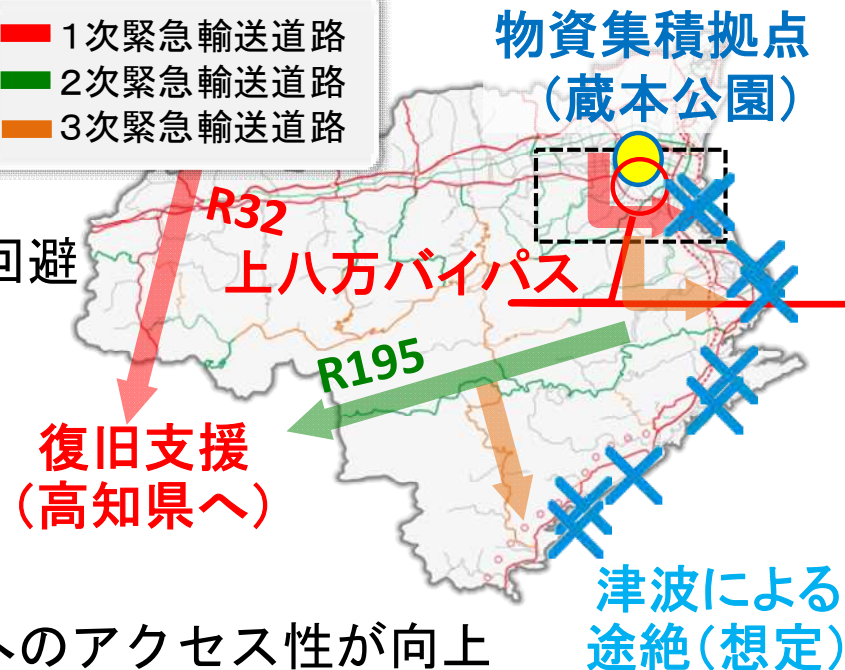
①緊急輸送道路ネットワークの強化

- ・幅員狭小の解消・落石危険箇所、園瀬川氾濫箇所の回避
- ➡ 走行性・安全性の向上。物資輸送等が円滑化
- ➡ 迅速・確実な初動対応の効率化
- ➡ 国道55号の多重性(リダンダンシー)を確保。

②災害拠点、避難場所へのアクセス強化

- ・徳島県立中央病院などの災害拠点病院、防災拠点へのアクセス性が向上
- ➡ 地域防災力の向上により、災害への確実な備えに。

- 1次緊急輸送道路
- 2次緊急輸送道路
- 3次緊急輸送道路



5. 道路整備による多様な効果③【ストック効果】

【安全・安心】地域内の安全な通行の確保

①安全・安心の確保

- ・歩道未整備区間の解消
- ➡️ 自転車利用者、歩行者の安全性を確保



整備前



整備後

【産業振興】地域経済の活性化

①物流の効率化

- ・徳島中央卸売市場までの搬送時間が約5分短縮
- ➡️ 農作物等の輸送の効率化
- ➡️ 新鮮で安全・安心！ひろがる「とくしまブランド」戦略へ貢献



神山町



佐那河内村
神山町

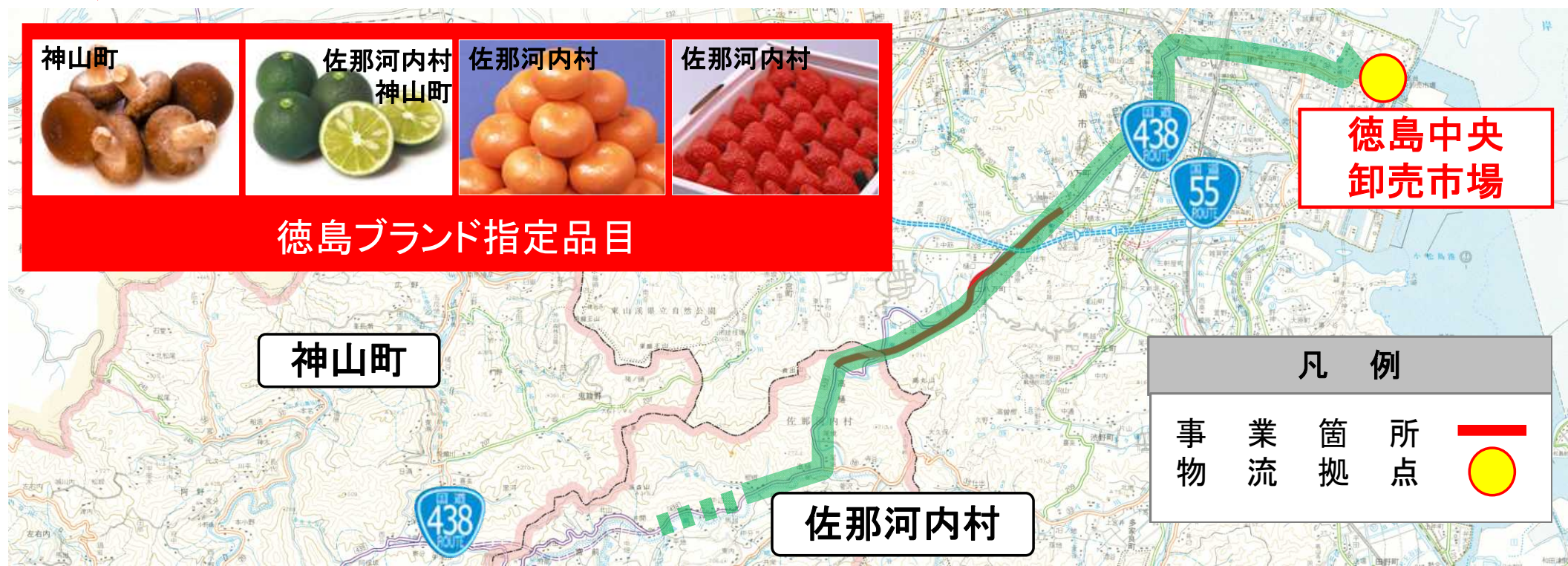


佐那河内村



佐那河内村

徳島ブランド指定品目



6. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **206.0億円**
(現在価値化後)



その他の便益

医療

- ・ 救命率の向上効果
- 計 **40.6億円**
(現在価値化後)
- 29.7億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 1.9億円
- ・ 騒音低減効果 9.0億円

※費用C=175.7億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.2$$

(参考) その他の便益を含む $B/C = 1.4$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 緊急輸送道路ネットワークの強化
⇒ 道路の走行性、安全性が向上
⇒ 国道55号の多重性を確保
- 災害拠点、避難場所へのアクセス強化
⇒ 地域防災力が向上

安全・安心

- 安全・安心の確保
⇒ 歩道未整備区間の解消

産業振興

- 物流の効率化
⇒ 輸送の効率化

■ 今後の対応方針(案)

事業継続